

2 - 2 2つの「最重要目標」を達成するために重点的に取り組むべき施策

(1) すべての基礎となる幼児教育の普及と質の向上

- ・ 幼児期の規範意識の育成と幼児教育カリキュラムの浸透と実践
- ・ 公私の幼稚園、保育所、認定こども園等就学前施設における読書活動の推進
- ・ 大阪市保育・幼児教育センターの設置

(2) 安全で安心できる学校、教育環境の実現

- ・ いじめ・問題行動を防止する安心ルール
- ・ いじめ・不登校・児童虐待等防止対策（生活指導支援員の配置等）
- ・ 生活指導サポートセンター（個別指導教室）の設置
- ・ 「減災教育」の進化
- ・ 放課後施策との連携

(3) 道徳心・社会性の育成

- ・ 道徳教育の推進
- ・ キャリア教育の充実
- ・ インクルーシブ教育システムの充実と推進

(4) 国際社会において生き抜く力の育成

- ・ 英語イノベーション
- ・ ICTを活用した教育の推進
- ・ プログラミング教育の推進
- ・ 公設民営学校の設置
- ・ 多文化共生教育の推進

(5) 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組

- ・ 学力の向上（習熟度レベルの上位層のさらなる伸長、下位層の底上げ）
- ・ 言語能力等を基盤とした協働学習の推進（アクティブ・ラーニング）
- ・ 理数教育の充実
- ・ 全市共通テストの導入（児童生徒のカルテ導入）

(6) 健康や体力を保持増進する力の育成

- ・ 体力向上のためのカリキュラムの作成と実践
- ・ スポーツ環境の整備
- ・ 食育の推進

(7) 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援

- ・ 学校図書館、地域図書館の充実
- ・ 大阪の歴史・現状・文化についての学習
- ・ 家庭教育に関する情報提供と学習機会の提供
- ・ 学習環境の分析
- ・ 産業界との連携
- ・ 地域・区域における生涯学習推進と学校園とのネットワーク

(8) 施策を実現するための仕組みの推進

- ・ 教職員の人材の確保
- ・ 教職員の給与制度改革
- ・ 教職員の教育力向上のための研修や学びの機会づくり
- ・ 校長のマネジメントの強化
- ・ 学校現場の負担軽減
- ・ 学校配置の適正化
- ・ 学校施設の長寿命化
- ・ 「状況記録表(カルテ)」(仮称)の作成、見える化
- ・ 3階層の「状況記録表(カルテ)」(仮称)の導入
- ・ 教育センターの機能充実(大学との連携含む)
- ・ 小中一貫教育の充実

(9) その他

- ・ 市立高校の将来構想の検討

2 - 2 2つの「最重要目標」を達成するために重点的に取り組むべき施策

(1) すべての基礎となる幼児教育の普及と質の向上

- ・ 幼児期の規範意識の育成と幼児教育カリキュラムの浸透と実践
- ・ 幼児期の規範意識の育成
- ・ 保育所における教育機能強化（幼保一元化の推進）
- ・ 公私の幼稚園、保育所、認定こども園等就学前施設における読書活動の推進
- ・ 大阪市保育・幼児教育センターの設置

(2) 安全で安心できる学校、教育環境の実現

- ・ いじめ・問題行動を防止する安心ルール
- ・ いじめ・不登校・児童虐待等防止対策（生活指導支援員の配置等）
- ・ 生活指導サポートセンター（個別指導教室）の設置
- ・ 「減災教育」の進化
- ・ 放課後施策との連携 「その他」から移動

(3) 道徳心・社会性の育成

- ・ 道徳教育の推進
- ・ キャリア教育の充実
- ・ インクルーシブ教育システムの構築充実と推進（発達障がいを含む障がいへの理解）
「子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組」から移動

(4) 国際社会において生き抜く力の育成

- ・ 英語イノベーション（ネーミングも含めて政策の見直しが必要）
「子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組」から移動
- ・ ICTを活用した教育の推進
「子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組」から移動
- ・ プログラミング教育の推進
- ・ 公設民営学校の設置
「施策を実現するための仕組みの推進」から移動
- ・ 多文化共生教育の推進

(5) 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組

- ・ 学力の向上（習熟度レベルの上位層のさらなる伸長、下位層をの底上げ）
- ・ 言語能力等を基盤とした協働学習と個別学習の推進（アクティブ・ラーニング）
- ・ 理数教育の充実
- ・ 全市共通テストの導入（児童生徒のカルテ導入）
- ・ 囲碁・将棋などの知的ゲームの学校教育への導入

(6) 健康や体力を保持増進する力の育成

- ・体力向上のためのカリキュラムの作成と実践
- ・スポーツ環境の整備(部活動・地域スポーツの充実、プロスポーツとの連携も含む)
- ・食育の推進

(7) 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援

- ・学校図書館、地域図書館の充実
- ・大阪の歴史・現状・文化についての学習
- ・家庭教育へのに関する情報提供。家庭や地域と力を合わせ、教育を作っていくと学習機
会の提供
- ・学習環境の分析(家庭、地域など)
- ・産業界との連携
- ・分権型教育行政のさらなる推進—地域・区域における生涯学習推進とのリンク(学校園
への還元)とのネットワーク

(8) 施策を実現するための仕組みの推進

- ・教職員の人材の確保
- ・教職員の給与制度改革
- ・教職員の教育力向上のための研修や学びの機会づくり
- ・校長のマネジメントの確立強化
- ・学校現場の負担軽減
- ・学校配置の適正化
- ・学校施設の長寿命化
- ・「状況記録表(カルテ)」(仮称)の作成、見える化
- ・3階層の「状況記録表(カルテ)」(仮称)の導入
- ・教育センターの機能充実(大学との連携含む)
- ・小中一貫教育の充実

(9) その他

- ・市立高校の将来構想の検討
- ・2学期制の採用
- ・学科横断的な視点と学校マネジメント力の強化